



PERSON

Special Interview

Vol.41

Photo by Kuni Nakai / Text by Mina Sakai

ジュエリーデザイナー

アケミ・ウエダ

Akemi Ueda

インテリアデザイナーの母リンダ・ウエダとふたりでジュエリーブランド、パラディサスをスタートし、デザインからマーケティングまでを担当。暁は医療機器の会社に勤めるかわら、パラディサスに情熱をそそぐ。日系4世、28歳。

<http://www.myparadisus.com>

ハワイ生まれのジュエリーブランド、パラディサス。誕生から3年、楽園をイメージさせるインパクトの強いデザインは今、ハワイ、そしてアメリカ本土でも注目を集めている。

パラディサスのデザイナー・オーナーは、現在サンフランシスコに住むリンダ・ウエダとハワイに住むアケミ・ウエダの母と娘。ジュエリーデザイナーはまったくの素人の母と娘がビジネスを始めるきっかけになったのが、リンダがインドネシアを旅行した時に現地の職人に作らせたペンダントだった。そのペンダントは、リンダの友人だけでなくアケミの友人のあいだでも評判になり、同じものを作ってほしいと頼まれるようになったのだという。

その記念すべき最初の一点が、この日アケミが着けているモンステラのペンダントトップ。モンステラはハワイでよく見かける大きな葉の植物で、ハワイアンキルトのモチーフとしても知られている。

リンダがジュエリーデザインを始める時、小さい頃からクリエイティブなことが好きだったアケミもすぐに参加。ふたりの作るジュエリーは口コミで人気が高まり、ハワイの植物をモチーフにした独特のデザインで知られるようになる。

——パラディサスの人気の秘密を教えてください。

「パラディサスは、アジアやハワイの植物をモチーフにしているのが一番の特徴よ。最初に作ったモンステラをはじめ、バナナの葉やピカケ、ラウハラのようなトロピカルなものからイチヨ

ウの葉や竹といったアジアの植物まで、今ではいろいろなデザインが揃っているわ」

——いちばん人気があるのは？

「ハワイとアメリカ本土ではずいぶん違うの。ハワイではモンステラやバナナの葉が人気だけど、本土では大きなカフのような大胆なデザインが売れるの。気候もファッションの傾向も違うからだと思うわ」

——ビジネスをしていて大変なことは？

楽園から生まれたジュエリー。

「母も私もジュエリービジネスは初めてだから、わからないことだらけ。トレードショーに行つてジュエリーを置いてくれるショップを探したり、やることはいっぱい。時間が足りないわ！」

——デザインをしていて難しいことはある？

「デザイナーにとってデザインをするのは簡単だけれど、それが売れるかどうかは別問題。本当は大ぶりのデザインが好きだけど、ピカケのような小さ

めかわいらしいものも作ったりね。でも売れるかどうかばかり考えていたら、クリエイティブな楽しさがなくなっちゃう。私たちが欲しいと思うものを作るのが基本よ」

——モンスラインを始めたんですって？

「そうなの。サニー・チン（ハワイの著名なクムフラ）のコレクションを始めたのよ。サニーがネーミングとハワイの伝統デザインのアドバイスをしてくれているの。たとえばサメの歯を並べたデザインのカバの模様は歯の向きによって意味が違うから、そういうことをきちんと教えてもらってデザインするの。サニー・チンも、今年のミス・アロハ・フラもパラディサスのジュエリーを愛用してくれているわ。この夏、サニーが日本でフラ・コンサートをする時には、会場でもパラディサスを販売する予定よ」

——これまでデザインの経験は？

「勉強したことはないわ。私はハワイのハイスクールを卒業してからミシガン大学で生物学を専攻したの。今は医療機器の会社で仕事をしながら、パラディサスに関わっているわ。サイエンスも好きだけど、実は子どもの頃からアーティスティックなことが大好きだったの。母がインテリアデザイナーで父は庭園建築家だから、その影響ね。ジュエリーのデザインをするのがすごく楽しいわ」

——お母さんと一緒に仕事をするのはどう？

「親子で仕事するのは、マイナスよしいことの方が多いわね。お互いをよく知っているから、遠慮しないでとことん意見を言い合えるでしょ。母と

は小さい頃から仲がよかったから、一緒に仕事できて楽しいわ」

——仕事の分担はどうしているの？

「ふたりともデザインをするけど、デザイン画を描くのはインテリアデザイナーの母の仕事。インドネシアのジュエリー職人さんとのやりとりも母が中心ね。私はプロモーションやウェブサイトのデザインなどを主に担当しているの」

——この仕事でいちばん楽しいことは？

「ほかの人がパラディサスのジュエリーをしているのを見ること。気に入ってもらって、喜んでもらえることが本当にうれしいわ」

——今後の夢を教えてください。

「あら、それは難しい質問ね（笑）。ハワイに住んで、クリエイティブでアーティスティックであり続けること。そして私のクリエイティブイヤーをほかの人が楽しめることに使うこと。早くパラディサスの仕事に専念できるようになりたいわ」

